



町 章

11月1日現在の天王町  
 本籍数 3,907  
 本籍人口 13,886  
 世帯数 2,650  
 住民登録人口 12,843  
 内 男 6,441  
 女 6,402

# うのてん報

発行所  
 秋田県天王町役場  
 (天王局 1番42番)

編集  
 天王町役場総務課

印刷  
 一日市印刷所  
 電話 38

第9号 昭和39年12月1日発行

## 年未年始の防犯……

毎年十二月は、他の月に比べ犯罪や各種事故が目だつて増加します。この犯罪や事故を防止するため特に次の点に御注意下さい。

一、小暴力の排除  
 最近の傾向では取締りが強化されるにつれ、違反者もその手段、方法が巧妙かつ潜在化してきており、警察の取締まりと並行して一般人の積極的な協力が望まれています。そこで、

(一) ぐれん隊や酔っぱらいなどいやがらせをされたり、おどかされたりしたときは、そのままにしないで、すぐ近くの交番や警察官に届け出るほか、そうした場合を目標にしたときも、同じく警察に知らせる。

(二) ダブ屋、景品買い、売春や飲食店の客引きなどは、暴力団の組織につながりをもつ犯罪であるから、決して相手にならない。

(三) 年末や年始にかけては、押売りや悪どいしし舞いなどがふえるので、玄関などは昼間でもできるだけカギをかけておくとともに、被害を防ぐため隣、近所が協力する。

(四) 友人関係を注意すること。最近における少年犯罪の著しい特徴の一つとして、集団犯罪がふえてきていることが指摘されます。盛り場をうろついたり、喫茶店などへ出入りしたりしている間に、ぐれん隊とつながりをもつことが多いから友人関係をよく知っておくとともに、行先をたしかめ、帰宅時間を厳守させる習慣をつけさせる。

(五) 年末年始は、家を留守にしがちなので空き巣やスリの被害にかかるおそれが多くなります。注意としては、

(一) 外出するときは、たとえほんのわずかの時間であつてもカギをかけることを忘れないこと。また一家そろつて外出する場合は、効果のあるカギを選んで二重、三重にかけておくこと。隣、近所にも留守をたのんでおく。

(六) まとまつた現金はなるべく手

元におかないようにし、通帳類も印鑑と別々に保管する。

二、歩行者行

歩行者側原因があつて起きた事故の六〇%までは、車の直前

## 年末の交通事故対策

毎年十二月は、月別では最も多くの件数や死者が記録される月です。この月に交通事故がふえるのは、歳末で車も歩行者も動きが激しくなり、そのことがさらに運転者、歩行者の気持ちにゆとりをなくさせるとともに、気候も寒さが加わり、霧や雪など運転するため条件が一段と悪くなるときだからです。そこで、運転者と歩行者は次の点に充分注意して下さい。

一、運転者  
 (一) 歩行者保護を心掛ける。横断歩道に歩行者がいる場合、必ず一時停止をする。

(二) 忙しい年末はとかくスピードをだしやすいが、スピードの出しすぎは、とかく大きな事故の原因になりやすい。いつでも止まることのできる安全速度、安全運転を忘れないこと。

(三) 年末は酒を飲む機会がふえるが、飲む時と場所に注意して飲んだあととは絶対に車を運転しないこと。

(四) 商店では万引がふえるから注意するとともに、売上げ金は人目につかない安全な場所へおく。必要以外の金を持ち歩かないよう心掛けること。現金は内ポケットに、ハンドバッグは胸にかかえるようにする。

### 十二月のよみ

- 1日 映画の日
- 4日 大権週間
- 7日 人権週間
- 8日 針供養
- 22日 冬至
- 23日 皇太子誕生日
- 25日 クリスマス
- 28日 官庁ご用納め
- 31日 年越し、大はらい
- 月異名 師走(しわす)
- 日異名 師走(しわす)
- 花暦 すいせん
- 誕生石 イス
- 土耳古玉(ターコ)

# 生活のメモ ①

## 十二月の健康

寒くなると外出もおつくりになり室にこもりがちです。冬期のうちばん健康的な室温は十七度から二十度までが適温とされています。日本家庭は適温を保つのに不向きな構造ですが、生活環境を向上させるために、農家、都市生活家庭ともこうした保温設備や工夫を研究したいものです。

寒くなるにつれて、一酸化炭素による中毒事件がずいぶんおこります。とくにプロパンガスや石油ストーブの不完全燃焼による中毒が多いようです。煉炭や炭火による中毒にはかなり敏感な人も、プロパンや石油となると案外無関心なのは、これらが比較的新しい暖房器具で、取り扱いが十分わからないことに原因があるようです。いずれにしても一酸化炭素によ

る中毒は、まず、頭がぼつとなり、気分が悪くなつたり、頭が痛んだり、ハキ気がしたりします。こんな時は、一刻も早く新鮮な空気を吸い、あまり体を動かさず、静かに寝ることがたいせつです。もちろんお医者さんにみてもらいます。

冬になると小さいお子さんのヤケドが多くなります。ひどいになると生命にかかわり、かるくとも、みにくいあとがのこります。ストーブ、コタツ、イロリなど十分に気をつけてあげてください。

十二月の衣生活  
 大人数の家庭はもちろん小人数のところでも、冬の衣服計画は主婦のなやみの一つでしょう。新しい衣料を買う場合は、なるべく早目に用意したいものです。月ほじめの方が値段も安目で押しつまる

につれて値上がりするものです。子供の既製服を買うときはボタンがしっかりとついているものを選びます。

お正月用の晴着は、なるべく早目に点検しておくこと。手袋などこまごましたものも一とおりそろえて新しい年を迎える準備をしておきましょう。

買物は早目に

十二月はまだ早いと思つていられるうちに値段がどんどんハネ上がつていきます。とくに食糧品は毎日毎日値上りするものです。年末年始用のもので、保存のきくものは早目に買つておきましょう。

十二月においしいのは、野菜では、ヤツガシラ、白菜類、しいたけなど。果実では国光リンゴ、干しガキ、ミカンなど。お魚ではカタクチイワシ、カレイなど。値段ははるが芝エビなどがあります。

お正月用の食品を用意するとき気をつけたいことは、あまりあざやかな人工着色してあるものは買わないこと。寒くなつても食中毒はあるものと考へて、保存のきく

ものを用意することとビタミン不足を補うことをお忘れなく……。大そうじを早目に

障子やふすまのつくり、張りかえはぜひ中旬までにすませておきましょう。大そうじも中旬までにはすませておき、暮れには、家内の整理に重点をおくようにしましょう。

大そうじの時、家具類の配置をかえると、新しい年を迎えるという新鮮な気分になるものです。

お正月に使うぬりものは、ぬるま湯で手ばやく洗い湿気をとつておきます。ガラス製器は中性洗剤で、せと物は熱湯をとうして、すぐ使えるように、手近かなところにおきます。

冬を暖かく

最近都会地では公団住宅などがかなり普及して、家屋様式が変つてきました。しかしまだまだ一般的には、日本の家屋は夏向きに出来ていて、冬の寒さには不適當です。

とくに、農家は、暖房という見地からは、まるで無防備といつてよいでしょう。

わたくしたちが、寒いなど感じる第一は、空気の温度です。そのために、外気をしや断した一室をぜひ作つておきたいものです。暖かい空気を逃がさないために、天井窓壁のすきまなどを目ばりしたりたみみの下に新聞紙をしいたりして、工夫をこらして見ましょう。

第二は、体にふれる器物の感触で、金属製の家具などは不向きで木製のものがよく、また、和室用のじゆうたんで安いのもできて

いますから、これをしくと、寒さがずつと違つてきます。

第三は視覚で、カーテン、テールブルカケなどを赤系統のものにかえると感じ的に暖かさを感じるものです。

第四に、日光を十分とり入れることです。太陽のない日でも昼間の空気が暖かなものです。外気をいれたら、日暮れには早目に戸をしめて暖かさが失なわれないようにします。また日光をさえぎる棚や日かげになる木の枝をとりはらいましょう。

こうした工夫の上で、こたつ、ストーブなど適宜な暖房器具を状況に応じて利用されと寒い冬をたのしく暮らすことができます。

## 自衛隊員の募集

防衛庁では昭和三十九年度二等陸、海、空士の第四次募集を次によつて行います。

一、受付期間  
 昭和三十九年十二月一日から昭和四十年三月三十一日

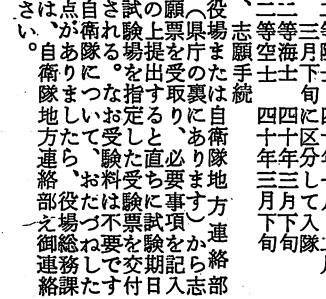
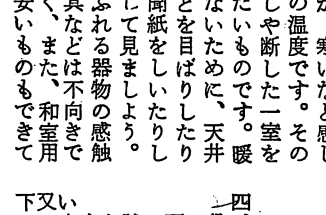
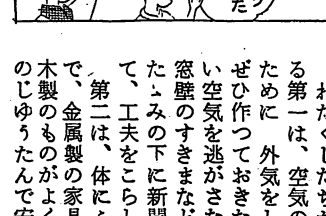
二、応募資格  
 十八才以上二十五才未満の者

三、採用予定期日  
 二等陸士 四十年一月、二月、三月下旬に区分して入隊  
 二等海士 四十年三月下旬  
 二等空士 四十年三月下旬

四、志願手続  
 役場または自衛隊地方連絡部(県庁の裏にあり)から志願書を受取り、必要事項を記入の上提出すると直ちに試験期日試験場を指定した受験票を交付される。なお受験料は不要でした自衛隊についてのおたづねは、自衛隊地方連絡部を御連絡下さい。

## 一家 泰平

森比呂志



# 生活のメモ

## 女性とお酒

このごろは、都会地、農山漁村を問わず女性がお酒を飲む機会が多くなつたようです。時には男性顔負けのみつぶりのよいご婦人にお目にかかることがあります。

元来、女性の方がお酒に強いといわれていますが、これはむしろ、ご婦人という立場から、酔つて乱れることを警戒する心理的な強さでしょう。しかし女性の体は男性よりデリケートにできているので、酒毒の及ぼす影響は大きいと考えなくてはなりません。ことに乳のみ児のある方は十分気をつけたいものです。

さて、ご婦人でも年末、年始には、このお酒を飲む機会が多くなります。ふだんからたしなまれていた方が別として、はじめてだつたりすると、飲む要領がわからないので、さされるままにピンチをあげると

たいへんなことになります。おいしいと思つても、いそがず、ゆつくり、少しずつ飲むことがいちばん肝心です。

また悪酔いしないために、あらかじめ腹ごしらえをしておくことです。飲むまえに、チーズや牛乳のような脂肪分の多いものをとつておくのもよいし、ビタミンB剤メチオニン系の菓をのんでおくのも効果があります。

ならづけでも酔う人があります。そんな人は異常体質ですから、お酒をすすめられなくても、はつきり断るべきです。

おふるの効用  
夕方、寒い戸外の農作業から帰つてはいるおふる、残業でおそくまで働いて帰つたおふるは、なるともいえないほどうれいし、な

たものです。暑い季節のおふるもありました、わたくしは日本人の生活には欠くことのできないものです。入浴の効用はまず、一日のはりつめた緊張をときほぐしてくれることです。筋肉労働の人々は筋肉

を、頭を使う人なら頭のうづつ血を、というように、体中のとどこおつている血をときほぐしてあげます。とくに冷え症の人は、足や腰をあたため、体中の血の循環をよくします。

二番目に、皮膚が清潔になります。皮膚は皮脂、汗腺から出る水分、外からつくはこりや細菌、皮膚の角質や細胞の脱落したのもなど、ひよこに汚く落つてい

ます。これが入浴によつてきれいになるのですから、皮膚呼吸がさかんにになり、肌がいよゝかえるのです。

第三番目に、一回の入浴は、約千メートル歩くほどのエネルギーを消耗するといわれています。ですから、おふるは、この上ないよい運動になり、食欲を増進し、便通をよくし、血液のめぐりも、排せつ器管の働きもよくなりま

す。このように入浴はたいへん有効な作用をするのですが、この半面、気をつけなければならぬ点もありません。

まず、あまり丈夫でない人の長

湯は禁物です。またあまり熱い湯も感心できません。大体四十一、二度ぐらゐが適温とされて、体の弱い人は、ぬるい湯の方がよいようです。

毎日入浴することにしたことはあ

りませんが、何回もはいるのはおすすめてできません。ゆずやみかん油に薬効があります。ゆずやみかんの皮には橙皮油とかチンナモンという強心作用のある成分が含まれており、実の方にはクエン酸があつて皮膚を刺激するので血行をよくするからです。

せいぜいおふるを有効に利用いたしましよ。

歳末の火災予防  
十二月は気ぜはしく落ちつたかないものです。また気象的にも空気の乾燥、強い北風とあいまつて、ひとたび火災が発生するとこのよ

うな悪条件が重なるため、大火災になる事件が非常に多くなつて

います。火災はちよつとの不注意から起こるものですから、これを予防するためには皆さん一人一人の不断の心掛以外にはないのです。これから冬に向つてつぎの点に注意してください。

一、たばこ  
吸がらは灰皿など所定のものに入れ、他には捨てないこと。

二、こたつ  
こたつには必ず金網のついた完全な目皿をし、こたつの中で手拭、手袋などを乾燥しないこと。

を入れたままで外出しないこと。また電気コタツの場合はスイッチを切り忘れないこと。

三、煙突、煙道の手入れ  
煙突、煙道は常に手入れをし、火粉などのでないよう金網を使用すること。

四、電気関係  
一 一般家庭の電灯のソケットの規格は六アンペア(六〇〇ワット)が限度ですから、無理なたこ足配線等はしないこと。

二 ヒューズのかわりに銅線や鉄線等を使用しないこと。また電線が樋、トタン屋根などに触れないようにすること。

五、子供の火遊びはさせないこと。

六、石油等油類を取扱う場合には消火器、砂類を用意しておくこと。

## 師走

渡部 六 愁

夫婦で刈る萱の枯花散らしつ明日までの緋いものや虎落笛  
首太く胸を育てて冬に入る  
はせ舟の胴より濡れて時雨くる  
算盤の珠のしめりは冬のもの



